

北方領土新聞

北方領土返還 のシンボル



四島のかけ橋

四島のかけ橋

- ・高さ… 12.62m
- ・長さ… 35m
- ・幅… 3.4m～5.0m

北方領土返還のシンボルとなっている、**四島のかけ橋**は、北方領土を四つのブロックで表現し、それが互いに連なり合っ、大きなかけ橋となり、領土返還を祈るゲートとして表現されています。

私が最初にこの四島のかけ橋を見た時は、ただ大きいと感じただけでしたが、一つのゲートで、**かけ橋**と北方領土を表現している、**返還**してほしいという思いが伝わるモニUMENTだと感じました。

兵庫県
安富中学校

元島民の方をモデルにした映画 『ジョバンニの島』



北方領土のひとつ、色丹島が舞台のお話で、主人公の少年は、色丹島(斜古丹村)出身の得能宏さんがモデルにされています。

この映画を見たのが、歯舞群島の元島民、河田さんのお話を聞いた後だったので、重なる所があった。映像を見て、本当にあった事だ、と、より深く感じることができました。映画のセリフで「また帰って来れるだろうか」と、おじいさんが言っていて、そこで、一人以上の方たちか、帰りたいと思いをからせられたというように、今までも、少くも他人事のように考えることができませんでした。今までも、少くも他人事だったので、自分のように考えられて、良かったです。

北方領土返還のために

北方領土返還のために、岡野真鈴さん(北海道根室高等学校三年)が行なっていること

・島民二世と交流

・次世代創造ねむろプロジェクト

・FMねむろ番組

根室高校北方研 つなげ未来へ

高校生が聞く

「知ってほしい四島の思い出」

・根室さんま祭り、「さ、ほろ雪まつり」で署名活動

など

北方領土について広めるために生まれた エリカちゃんとながま



自分達ができること

私が今回、北海道に來させて頂いて、色々な方のお話を聞かせて頂いて、自分にできると思っ、たことは、「家族・友達に学んだことを話すこと」平和展に出す作品に北方領土の話を書くこと」です。他にも自分でできることを探して、行って行きたいです。

感想

私は今回北海道に來させて頂くまで、交流といえはロシア人の方と行っているというイメージがありましたが、元島民の方とも交流してたりしていたので、少し驚きました。ですが、一番驚いたのは、高校生がラジオ番組で、北方領土の話をしていて、ということ。関心の少ない若い人たちが、そういう活動してくれ、と、次世代につなげていくので、私はラジオで知っていますか、活動に参



←エトピリカ

北方領土について知ってもらうために生まれたエリカちゃんたちのモデルになっているのは、「エトピリカ」という鳥です。